

ふくいのりのりマップ 第8版 4月上旬発行 !! 「店先でバス乗降」特集

ROBAとどろみ
ホジロバマップをめぐって

バス路線に、基幹軸となる電車を加えた「バス電車マップ」を、利用者の立場から、使いやすく工夫して作り直しました。
では、実際にマップを使ってルートを考えてみましょう。

- 自分がある場所と最寄のバス停・駅を地図の上で確認する**
これがわからないことを迷子といえます。
- 目的地と最寄のバス停・駅を確認する**
- それらをつなぐバス・電車のルートを探す**
かならずしもひとつの路線で結ばれているとは限りません。つないで組み合わせてください。また、いくつかのルートが考えられる場合もあります。
- 最適なルートを選ぶ**
正確な地形図を使っており、路線情報も掲載しています。距離や便数も参考にして最適なルートを選んでください。
- 駅までの、駅からの交通手段も工夫する**
徒歩だけでなく自転車や車と組み合わせてみましょう。P&R、レンタカー、いろんな情報を掲載しています。「路線・周辺情報の探し方」も参照してください。

ホジロバマップ (歩自転車マップ)
歩行者・自転車・路面電車・バスなどあらゆる交通手段のためのマップづくりを目標としています。ご意見ご協力を。

つないで活きるバス電車 スローライフのすすめ

福井のバスや電車は、必ずしも便利とはいえませんが、うまくつないで工夫をすることで使いやすくなります。雨や雪の日、休日にのりのりマップを片手にバス電車に乗ってみませんか？

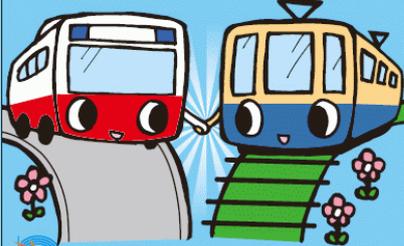


えち鉄電車と福鉄の路面電車、それに自転車が増えれば、近くを走るバスも仲間に入れて、もっとつながるようになります。

第8版 2011年4月

ふくいのりのりマップ

— ひつてえべんりな福井のバス電車マップ —



企画・発行：NPO法人 ふくい路面電車とまちづくりの会 (ROBA)
協力：社団法人福井県バス協会

●関連記事 4 ページ

☆☆活動報告☆☆

3月25日

福井市福鉄福武線サポート団体協議会理事会

4月15日 例会・第87回定例理事会

☆☆今後の予定☆☆

4月17日(日) 福井市市民活動助成成果発表会

4月26日(火) 作業部会(総会準備)

5月10日(火) 臨時理事会

17日(火) 作業部会(総会準備)

22日(日) 定例総会・記念講演

ゆうじんの部屋 書籍紹介

上越新幹線物語1979

(副題) 中山トンネルスピードダウンの謎

北山修三 交通新聞社新書 800円+税

ほとんどの区間を200キロ以上で走る新幹線であるが、全列車が止まる大都市の在来線併設駅前後、追い越しをされる列車がポイントを通過する場所など止むを得ず200キロ以上で走れない区間があることは乗っていて経験上御存じのことと思う。しかし、上越新幹線の中山トンネルは、本来山を越えてまっすぐ走ることが目的のトンネル内で線路が曲がっていて減速を余儀なくされている。この本は、地質が悪い山でトンネルを掘る苦労を描いた壮絶な物語である。もちろん大金と時間をかければ火山の中以外は何とかトンネルを掘れる。しかし、予め充分な地質調査を行い、若干曲がっても地質のいいところを選んだほうが、はるかに早く安く安全にトンネルを掘れるというまさに土木工学の教訓書である。外から見える橋や駅とはちがって、地味な存在のトンネルであるが、見えない部分を掘るからこそ奥深い技術が要求されるのである。土木に興味のない鉄道ファンの方にこそ、こうした一面があることを知るためにお読みいただきたいし、土木が専門の方はきっと勉学意欲、勤労意欲を増すことができる一冊だと思う。こうした技術者の記録は、現在のリニア新幹線のルート検討にも大いに役立っている。

東京会員 美濃部 雄人 Minobe Yujin

福井市福井鉄道福武線サポート団体協議会理事会報告

出席&報告：内田桂嗣

日時：平成23年3月25日(金)14:00~15:00 場所：清明公民館

1、加畑一三会長あいさつ

2、役員紹介

新しく5名の理事と1名の監事が入れ替わった。

3、福武線の取組状況について

佐々木専務より報告

- 70歳以上のP会員(平日・休日とも400円で乗り放題のフリーチケットが利用可能)の加入が伸びた。(平成22年4月~12月 平均乗車数は5,000人/月)
- 子供対象の取り組みによる利用が伸びた。(小学生対象の鉄道教室イベント5回実施、延べ360人が参加)
- パーク&ライドの利用、通学1年定期券の発行が伸びた。また、雪で利用が伸びた。
※現在、前年比106%に。22年度目標の170万人達成できそう。

○新駅開業

3月20日、清明駅・泰澄の里駅開業。同日、新駅開業に伴うダイヤ改正を実施。

- ・田原町駅での三国芦原線接続を10分以内に改善する。
- ・4月1日、越前武生駅発福井方面行き電車の終電繰り下げ。28分繰り下げ、22時18分越前武生発が最終に。

○新駅開業記念沿線ウォーキング開催「泰澄大師伝説の北国街道コース」

平成23年3月21日(祝)参加費100円(傷害保険、資料代など)

コース：泰澄の里駅~泰澄寺~朝六ツ橋~浅水宿場~清明駅~ベル西~赤十字前駅

○新駅開業記念イベント「電車でスタンプラリー」(小学生対象)

平成23年3月27日(日)9時~12時

○モビリティマネジメント：22年11月より麻生津地区でMM意識調査を実施。1000部配布、12月末現在450部回収。

○ボランティア駅員募集：22年11月より北府駅(2名)、西山公園駅(1名)、水落駅(1名)、花堂駅(1名)、田原町駅(1名)に配置。ほか

4、報告 ①平成22年度の利用促進活動について

②平成22年度収支決算見込

5、議事 福井鉄道福武線活性化連携協議会の委員選任について 協議の結果、「坂川 清 理事」を満場一致で選任

6、その他

泰澄の里駅周辺も民地もあるので、P&Rとしての駐車場の整備をお願いしたい。→(福鉄)予算の問題もあるので難しいが検討していく。

このたびの東北関東大震災にあたり、みなさんもいろいろなご支援をされているとおもいますが、ここでは、我々の日ごろの活動を活かした全国的な取り組みを紹介します。

1. 東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）「被災地域公共交通運行状況マップ」

http://island.geocities.jp/town_m_resp/tohoku/

公共交通網・道路網が寸断され、人の移動が著しく制限された状況の中で、復旧された道路を縫いながら走るが臨時バスが活躍しています。地理感のない観光客や、地域外へ避難する人のために、今すぐに使える公共交通の運行情報がわかりやすく表現されていることが求められています。そこで、これまで10回にわたって交流してきた全国バスマップサミットの主に関東東北方面のメンバーが主体となって、リアルタイムに更新しています。

以下：バスマップMLより

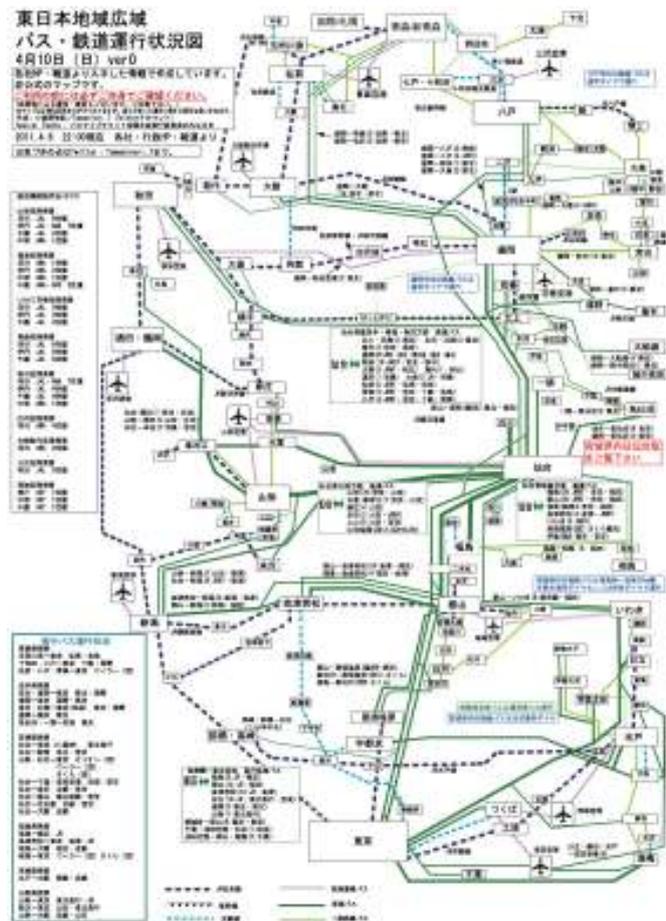
＜東日本広域マップについて＞

「皆様からの暖かい声、お褒めのコメントなど、ありがとうございます。思わぬ反響に少々驚いており、おかげさまでwebは日800~1000アクセスをいただいております。

情報収集については、twitterなどで呟いていただくのが一番簡単にサルベージできます。自治体バスの情報がまったく入らないのが悩みです。気がつくというケースが結構あります。

あくまで都市間・地域間のバス路線で考えてますが、ニーズが徐々に細くなってきているのは感じており、仙台版を分離した際にかなり細かく書き込みました。今後、生活密着型の盛岡版、福島版、三陸版などのローカル版も考えていく必要がありそうです。（一部略）」

下：仙台版 右：東日本広域版

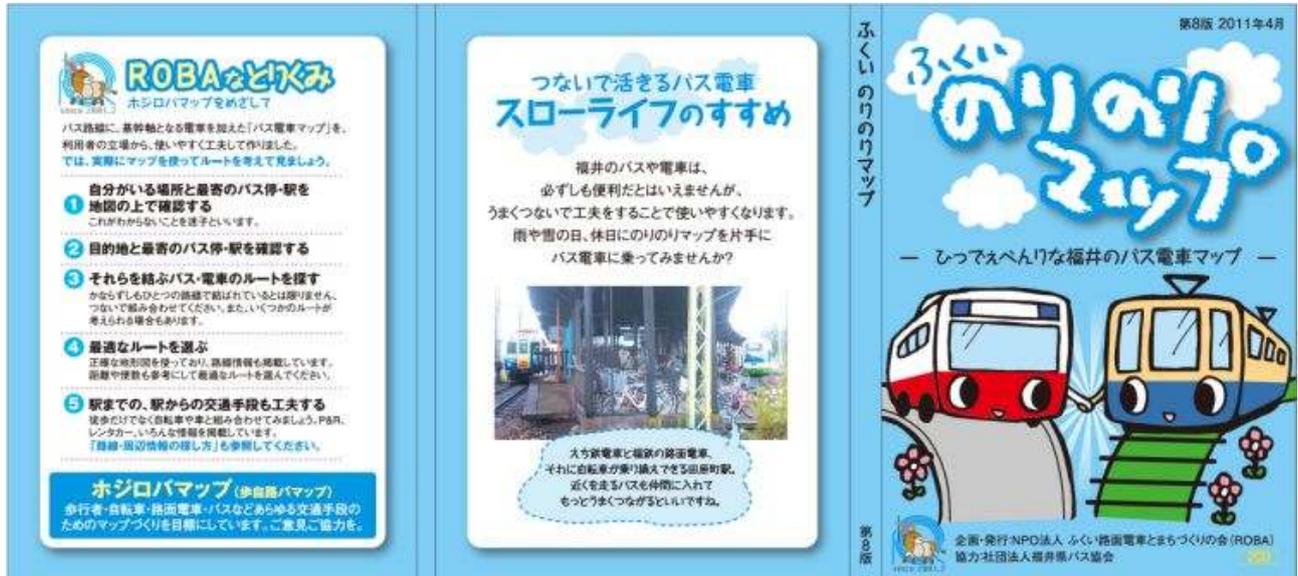


2. 避難者へのバス電車マップ提供

一方、全国各地へ避難した方々へ、バス電車マップを提供しようという動きも始まっています。福井県では、被災者にバス電車無料パスを提供することを検討しており、併せてROBAからのモノリノリマップを提供する予定でいます。広島などほかの地域でも、この情報を拡大してバス電車マップの提供が始まっています。

ふくいのりのりマップ第8版発行しました マップ部会 林 博

ふくいのりのりマップ第8版を4月1日現在（敦賀市は5月1日予定ダイヤ）の情報をもとに改訂して、表紙付5,000部、ミニマップ8,000部を発行しました。今年はこれまで使っていない青色系統にしようということで、明るいのがよいだらうとスカイブルーにしました。例年より少し早めて15日ごろから出荷し始め、店頭には4月20日ごろに並ぶ予定です。会員の皆さんにはまずミニマップをお送りし、表紙付は総会お渡しとなりますので多数ご出席ください。



のりのりマップ第8版2011



ROBA認定優良バス停

また、今回のROBA認定優良バス停は、敷地内にバス停留所を設けて、店先までバスを乗り入れしているショッピングセンターを特集しました。最近郊外の病院をはじめとする大規模施設が、バス利用者に対するサービスを強めてきています。ただ、バス路線を強化しているアピタ・エルパ（大和田エコラインで運賃補助）も、あおぞらくんのバス停は軒下まで乗り入れてはいるが路線バスのバス停は駐車場の端にあって、もう一息頑張してほしいものだ。

ホジロバ交通体験記【6人目】 ～ オーストラリア・トラムレストラ

報告：松原光也

2011年2月25日～3月6日までオーストラリアの都市交通を視察してきました。その中で公共交通の利用促進策としてぜひ福井でも導入してもらいたいトラムレストラを紹介します。オーストラリアの旧都メルボルン市は人口約390万人（面積7694km²）で、シドニーに次いで2番目です。中心部の6km四方のエリアには約9万人が暮らしていて、人口密度が約2400人/km²ですので、日本の都市より住宅が広く緑が多いという印象です。都心の東西約2km、南北1kmのエリアは京都のように基盤目状になっていて、主要な通りにはトラムが走っています。さらに、都心を突き抜けるようにトラム網は郊外にも延びていて、路線は20本を越えます。また、都心の百貨店やモールが集中するボーク通り（Bourke St.）は一般の自動車を通行止めにしたトランジットモールになっています。総延長135マイル（約216km）におよぶトラムのネットワークに加え、郊外電車、バスが都市内をくまなく結んでいて、\$5.72（1オーストラリアドル＝約80円、約500円）で1日乗り放題となっています。さらに、都心をぐるりとまわるトラムは無料です。

メルボルンのトラムは1889年に開業し、1923年に路線が最大となったものの、自動車の台頭と老朽化により、利用者離れが進み、路線も縮小されていきました。それでも路線を維持しようとレトロ電車の運行と並び、観光客を増やそうと1983年に導入されたのがトラムレストラです。ヴィクトリア州政府はトラム内で調理できるように法律を改正したそうです。その努力と市民への定着、世界的なトラムの見直しの流れを受けて、2001年に低床車を導入し、現在では路線の復活・延伸、バスや郊外電車との一体的な運営が図られています。



メルボルンのトラム網：都心の主要な道路から郊外へ網目のようにトラムの路線が延びている



ボーク通りのトランジットモール：トラムと買物客でにぎわう歩行者空間の組み合わせはもはや世界の常識（上）。ガレリアを出たところにトラムが待っている（下）。



トラムレストランは都心の南側を流れるヤラ (Yarra) 川の南のトラム乗り場から出発します。サービスは3種類あり、ランチ (コース料理4品・\$82.50) が13:00~15:00、アーリーディナー (コース料理3品・\$77.00) が17:45~19:15、レイトディナー (コース料理5品・日曜から木曜が\$121.00, 金曜と土曜が\$137.50) が20:30~23:30です。私が予約できたのはアーリーディナーで、その日は2台で運行されるほど予約で一杯だったようで、レイトディナーは満席でした。南半球は季節が逆のため、夏の終わり頃でサマータイム (時計を1時間早める) が実施されており、明るいうちからトラムに乗車しました。車内は4人掛テーブルが片側6つ、2人掛テーブルが反対側6つあり、乗車口付近にキッチンとカウンターバー、それにトイレも付いています。

出発してまもなく、コースメニューを選択、食前酒とオードブルがサービスされ、それが行き渡るとチーフ・ウェイターが歓迎の挨拶とトラムカーの説明をしてくれます。オフィスビルが少なくなり、郊外住宅地に入り、オードブルを食べ終わる頃には海岸線が見え始めます。メインディッシュ (私はヴィクトリア州産のビーフを選択、もうひとつはチキン) が登場する頃、数ある路線の中から最も風光明媚なセントキルダ・ビーチへ到着。ここまでゆっくり走って約45分ですから、メルボルン市民は普段なら都心から30分ほどでトラムに乗ってビーチリゾートが楽しめることとなります。

ここから東に向かい、今度は市民の憩いの場であるアルバートパークを1周します。湖のほとりの公園で、毎年この周回道路を使って、自動車レースの最高峰F1グランプリが開催される公園です。シャンパンやオーストラリア産ワイン (他にもブランデー、ウイスキー、ウオッカなどが飲み放題) を飲み、肉汁たっぷりのオージービーフをいただきながら車窓を楽しむだけでも乗った甲斐があるというものです。帰りは再び海岸線に戻り、今度はデザート (私はチョコレートケーキを選択、もうひとつはプディング) を楽しみながら、夕日を眺めながらの帰路となります。ここで、チーフ・ウェイターが再び登場、音楽に乗せて歌い出します。つられて乗客たちも合唱に参加。さらにはキッチンからケーキが運ばれてきて、今度はみんなでハッピーバースデー・トゥ・ユーを合唱。どうやら誕生日パーティを行うためにトラムレストランを利用したグループがあったようです。その次のグループはおじいさんの退職記念のお祝いで、みんなから祝福の拍手が送られました。市民が記念パーティをトラムレストランで開き、乗り合わせた乗客とともに祝うのです。トラムを大切に残してきたメルボルン市民の宝物だなと感じました。

私は一人で参加したのですが、ウェイターはカタコトの日本語で話しかけて気にかけてくれますし、隣の席の人は京都に行ったことがあるらしく、「メルボルンも京都も古都で、中心部は基盤の目で古い建物が多くて似ているね」などと話が盛り上がり、すっかりメルボルンが気に入ってしまいました。日本でも「ビール電車」や「おでんしゃ」などが走っていますが、残念ながら調理はできません。特区制度などを活用して福井でもトラムレストランを導入してはいかがでしょうか? ソースカツ丼トラムや越前そばトラムでもよいですよ。

メルボルン・トラムレストラン <http://www.tramrestaurant.com.au/en/>



トラムレストラン：
車両はレトロ (左)
車内 (上)
メイン料理 (右)

福井鉄道に新駅開業

鳥居健

3月20日、福井鉄道に開業した2箇所の新駅を訪問しました。まずは市役所前 9:39 発の電車で清明駅に向かいましたが、そこに何と福鉄の村田社長が乗っておられました。

清明駅には、先に岸本さんが来ておられました。村田社長も清明駅で下車され、記念品配布の前に、集まったお客さんに挨拶されました。昨年からの新駅設置やダイヤ改正の効果が現れて、乗客数も目標達成の見込みで、今後ともご支援よろしくとのことでした。



記念品配布前の清明駅

清明駅を発車する下り田原町行き

秦澄の里駅ホーム

その後、10:13 発の越前武生行きに乗車し秦澄の里駅に向かいましたが、駅の構成は清明駅とほとんど同じです。ガラス張りの開放的な待合室と、身障者も使える多目的トイレが設置されています。

新駅2箇所を見た後、帰りは赤十字前で途中下車して無料のレンタサイクルを利用し、赤十字血液センターで成分献血して帰りました。今回の震災に対して募金以外に何か出来ることで協力しようと考えての行動でしたが、同じ考えの人が多くて混雑しており、1時間近く待ち時間がありました。

今回久しぶりに福鉄福武線に乗って感じたことですが、ベル前での乗降が多くなったのに驚きました。乗客の多い時間帯は駅員が派遣されていて、すべてのドアから乗降させています。従来は夕方の時間帯に乗車チャンスが1時間に2本しかなかったのが急行停車で4本に倍増したのですから、電車で買い物に行く人も増えたのでしょう。今後計画されている田原町でのえち鉄との相互乗り入れや、福井駅前ヒゲ線の延伸が早期に実現し、福武線がますます便利になることを期待しています。

福鉄新駅開業に関して

岸本雅行

3月20日に、秦澄の里・清明の2駅が新しく開業、同時にダイヤ改正も行われました。震災の影響で記念式典なども中止されましたが、記念品配布には多くの沿線住民が集まり、新駅の開業を笑顔で祝っていました。新駅開業に関し、毎日通勤で福武線を利用している乗客の一人として、気が付いたことなどを書かせていただきます。

2つの新しい駅の周辺は大きな住宅団地や企業が立地し、今後の利用者増加が見込まれる地域です。町内会を中心とした電車に乗る運動や、企業による通勤者への利用支援など、あらゆる方法での積極的な取り組みが望まれます。開業時の賑わいが、今後とも続いてほしいものです。

新駅開業にともなうダイヤ改正では、えちぜん鉄道との接続時間の改善、さらに夜間に1往復増便されるなど、利用者にとってはたいへん便利なダイヤとなりました。乗客減少で運転本数を減らす地方私鉄が多い中、福井鉄道の積極的な経営姿勢は大いに評価されてよいと思います。ただ、えちぜん鉄道との接続時間が改善されても、別々の運賃を支払う現状では割高感があるため利用者増はあまり望めません。将来の、えちぜん鉄道との相互乗り入れも見越して、1日も早く乗継割引乗車券の発売を望みたいところです。

また、4月から「フライデーフリーパス(金曜日限定の月極フリー乗車券)」という新しい乗車券が発売されています。この「フライデーフリーパス」は金曜日限定の無記名式定期券(1ヶ月1200円・3ヶ月3300円・6ヶ月6000円)みたいなものです。割引率最大の6ヶ月券を購入して毎月4日利用した場合、1日につき250円とたいへん割引率の高い乗車券です。従来の土・日・祝500円の1日フリー乗車券も割安感がありましたが、金曜日にはこれの半額で乗車できるようになりました。これを機会に、クルマでの通勤者が、週に1回だけでも電車で通勤してみようという気持ちになってほしいものです。また、カー・セーブデーに協賛する沿線企業にまとめて購入してもらえば、二酸化炭素削減にも効果があるはずです。しかし、残念なことに、こんなに格安の乗車券が沿線住民にあまり知られていないようです。もっと積極的に宣伝してほしいものです。

福武線の電車で通勤を始めて1年が経過しました。昨年度の乗客は前年度と比べて106%と順調に推移しているようです。乗客として、ROBAの会員として、福武線のさらなる発展に微力ながら協力・支援していきたいと思っています。

お得なコイン式パーキングを見つけた！



じゃじゃ～ん！ 駐車するだけでポイントが貯まる駐車場がありました。もしかして、クルマ大国のふくいにも、どこかにあるのだろうか……。

これは、愛知県春日井市のJR春日井駅前にあるコイン式パーキングです。ここは中心商店街が駅から約1キロ先にあるので、駅前商店街らしきものは形成されていません。駅前には主に住宅系の土地利用がされており、駅近くにコンビニ1件とビジネスホテルが数か所ある程度で、住宅地と駐車場利用がおよそ半々です。

このパーキングはロック板がないので、大丈夫かな～って見ていたら、車両No.認識システムなんだって。(ハイテクだね) お客様は安心して……って書いてあるけど、実は厳しく監視してる。ところが、利用者には嬉しいポイント付き。利用すればするだけお得感あって、この場所以外には、もう止められないという衝動にかられそう。

その他、ここのパーキングは1日最大1,000円ですが、すぐ隣は700円だったり800円だったり、利用者の心に響く価格設定になっていました。

コイン式パーキングは景観やまちづくりに関して、全国的に問題となっていますが、やはり春日井も同じ状況で、空地を探してもわずかししか見当たらないくらいで、きちんとパーキングが出来ています。(月極より儲けが大きいからね)

学生のワークショップをしたのですが、ニーズがあるからパーキングができるんだ！という学生と、パーキングがあるから車に乗って駅に来るんだ！という、かなり激しい意見交換がありました。(最終的に、「交通の便が悪いのが原因だ」との意見が……)



作/漆寄 耕次

編集後記・・・編集委員より一言

内田(発行責任者)

「地震は突然ですが、さくらは毎年必ずやって来る。さくらの、「今年もやって来たよ！」と言わんばかりのピンクの大輪はココロがホッとごみます。」

林(変集長)

「高校野球は涼しい秋に延期しましょう！」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>